

地域

家庭

学校

みんなで子どもを育てる
コミュニティ・スクール令和8年10月発行
小樽市立朝里中学校
学校運営協議会事務局

CSかわら版

CS地域防災講話では、松田先生から朝里の地形や地質の歴史を、大沼先生から津波リスクや具体的な防災対策を学びました。特に朝里川扇状地が比較的 안전한 地盤であることなど、地域の地質と防災の深い関わりが非常に興味深かったです。今後は高齢化が進む地域の課題に向き合い、10月の防災訓練のように中学生と地域が連携して、日常的な見守りや迅速な避難支援体制を整えていくことが重要だと感じます。

大地の歴史から知る！朝里の防災と私たちの備え 講話の内容をAIにまとめてもらいました！

足元のタイムカプセル：朝里の地形は「海底火山」から生まれた

私たちの住む朝里は、数千万年の歴史が作った「奇跡の地形」。実は、地震の揺れに強いまちでした。

[地表 / 現在]

過去からのメッセージ

川岸に見られる赤い土は、かつてこの地が亜熱帯気候だった証拠。普段見ている景色は、太古の地球環境を教えてくれるタイムカプセルです。

[深層 / 1000万年前]

海底火山から大地へ

約1000万年前、朝里周辺は激しい海底火山でした。陸起と噴火、そして氷河期を経て、現在の複雑で豊かな地形が形成されています。



[浅層 / 2万年前～]

最強の地盤「扇状地」

朝里川周辺は、氷河期以降に石や砂が頑丈に積み重なってできた巨大な「扇状地」。軟弱地盤ではなく、地震の揺れに対しては非常に安全で強い土地なのです。

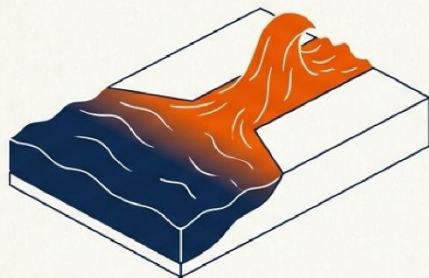
揺れには強い朝里。しかし、この特殊な地形は、海からの脅威に対しては「全く別の顔」を持っています。

地形が牙をむく時。朝里を襲う「津波の真実」

揺れに強い地形も、海からの波には弱点となります。タイムリミットはわずか「22分」。

V字地形の罠

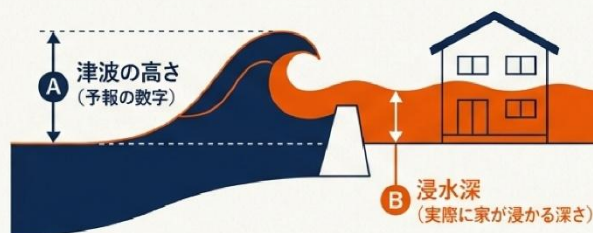
波は「奥」で牙をむく



朝里川の河口付近のようなV字型の入り江では、津波のエネルギーが一点に集中します。沖合での波が低くても、陸に近づき地形が狭まることで、波の高さが一気に「3倍～5倍」に跳ね上がる危険性があります。

「津波の高さ」≠「浸水深」

ハザードマップの正しい見方



「予報の数字が低いから」と油断してはいけません。命を守る基準は、自分の家がどれだけ浸水するか(浸水深)です。

1

[0:00] 日本海側で地震発生

2

[数分後] スマホ・防災無線の警報(大津波警報)

22

[22分後] 津波第1波到達

迷っている時間はありません。津波は一度だけでなく、30分以上かけて何度も押し寄せます。

地形だけでなく、「今の朝里の環境」だからこそ起きる避難の壁があります。

人の死角（地域コミュニティの現状）



ファクト：1丁目・4丁目を中心に高齢化が進行中。
さらに、平日の昼間は働き世代や学生が町にいません
(1世帯あたりの人数も減少)。

リスク：「誰が助けるのか？」

災害が昼間に起きた場合、高齢者や体の不自由な方が
自力で、あるいは極めて少ない支援で素早く逃げ切れ
るかという大きな課題があります。

インフラの死角（物理的なバリア）



ファクト：震度5以上の揺れを検知すると、安全確認
が終わるまでJRの踏切は「下りっぱなし」になる可
能性があります。

リスク：「車での避難は致命傷」

車で避難しようとした場合、開かない踏切によって大渋
滞が引き起こされ、逃げ遅れる危険性が急増します。
(※津波による車の水没は保険適用外になるケースも多発します)

Gemini Notebook

知識を「命を守る行動」へ。みんなで動こう

災害時、「やらないこと」が一番の危険。大切な人の命を守るための次のステップ。

今すぐできる3つのアクション

- ☐ 自宅の「色」を確認する：お手元のハザードマップを開き、自宅や職場が「浸水深」のエリアに入っているか、色を確認しましょう。
- ☐ 逃げ道を歩いてみる：「踏切が使えない・車が使えない」場合を想定し、安全な高台への徒歩ルートを2つ以上見つけておきましょう。
- ☐ ご近所の顔を思い浮かべる：昼間に災害が起きたとき、声をかけ合うべき近所の方は誰か、家族で話し合しましょう。

【朝里中学校合同 防災訓練のお知らせ】

朝里中学校が避難所になった際、中学生たちが主体となって運営にあたる場面が必ず来ます。
地域の皆様の経験と、中学生の若き力が合わさることで、朝里の防災力は格段に上がります！

日時：10月25日（日） 場所：朝里中学校 体育館 規模：約200名規模の合同訓練

「CS委員一同、地域の皆様の積極的なご参加をお待ちしております！」
(松田先生・大沼先生、貴重なご講話ありがとうございました)



今回のCS 地域防災講話を通し、私たちが暮らす朝里の大地の歴史や、地域が
直面する防災課題を改めて見つめ直す機会となりました。熱意あふれるご講話
をいただいた松田先生、大沼先生に心より感謝申し上げます。

高齢化が進む朝里地区において、いざという時に頼もしい存在となるのが中
学生です。10月25日（日）9時

から、朝里中学校体育館にて地域合同の防災訓練を実施します。

中学生と地域住民が協働し、避難所運営などを
体験しながら「互いに助け合える関係」を
育む大切な場となります。ぜひ多くの皆様にご
参加いただき、地域全体で命を守るネット
ワークを一緒に広げていきましょう。



防災訓練参加申込 QR



Gemini Notebook